

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取東高等学校

重点項目	英語教育重点校	提出日	平成30年1月15日
------	---------	-----	------------

1 学校目標

さまざまな教育活動を通して、21世紀の鳥取そして日本を支える人材の育成に努める

- 1 自分の将来をはっきりと思い描き、その目標に向かって努力する主体性を育成する
- 2 社会のどこかを支える人間、一隅を照らす人に育てる
- 3 他者を思いやる優しさ(親和)、困難に立ち向かう逞しさ(克己)、探究しようとする積極性(進取)を育成する

2 重点項目に係る目標

今後の大学入試で求められる、スピーキングとライティングを中心とした英語のコミュニケーション力を高め、生徒の情報伝達力、英語の学力全般の向上を図る。特にスピーキング力の向上に重点を置き、授業内外でのスピーキング活動の促進と効果的な評価方法について、組織的に研究・実践を行うことを目標とする。

GTEC(スピーキングを含む)で以下の数値を目標とする。現在の人数は GTEC for STUDENTS の結果を基にしているため、スピーキングの点数は含まれていない。

	1年生 12月	2年生 12月	3年生 9月
GTEC 690 以上【CEFR A2、英検準2】 (現在の人数：旧 GTEC 410 以上)	180人 (160人)	230人 (220人)	280人 (250人)
GTEC 820 以上 (現在の人数：旧 GTEC490 以上)	90人 (70人)	100人 (80人)	120人 (100人)
GTEC 960 以上【CEFR B1、英検2級】 (現在の人数：旧 GTEC570 以上)	10人 (7人)	25人 (10人)	50人 (30人)

3 事業計画 (事業名、事業概要)

【高等学校課事業 21世紀型能力を育むための講師派遣事業】

「4技能と思考力育成のための英語ディベートの活用と評価」を取組のテーマとし、効果的な実践方法と評価の在り方について研究する。主体的・対話的で深い学びを可能にする英語ディベートを継続的に授業に取り入れることで、生徒の思考力、英語での表現力が培われ、社会的課題などへの関心が高まる効果が期待できる。また校内ディベートキャンプや全国大会への参加などを通して、英語ディベートで他の生徒を牽引することのできるリーダーを育成し、学校全体のディベート力向上を目指す。

(1)ディベートを取り入れた英語授業の研究を行い、職員研修会を行う。

(2)希望生徒対象の「ディベートキャンプ」を開催する。

【独自事業 英語力養成事業】

教員の英語教育研究大会等への参加、チームティーチングで行う授業を充実させるための外部講師(英語のネイティブスピーカー等)の招聘、英検等新テストへの対応

【その他】Classi(ベネッセ)を導入し、授業外でのライティング、スピーキング活動の充実と評価、表現活動のポートフォリオとして活用する。